

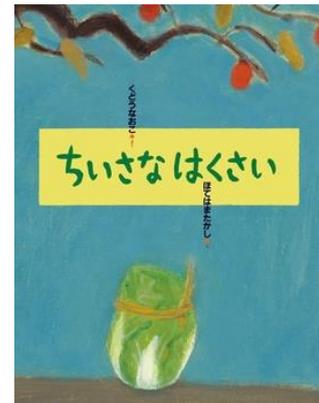
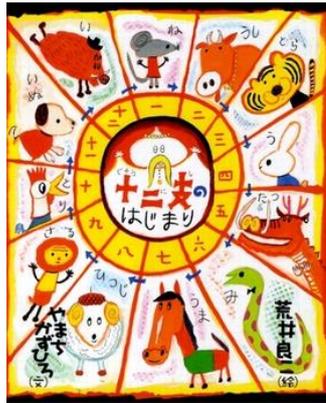
おはなしだより 1月

<年長>

十二支のはじまり

作 : やまち かずひろ
絵 : 荒井 良二
出版社 : 小学館

毎年、年末になると話題になる十二支。どんな動物がいて、なんであの順番になったのか？ そんな疑問をもつ子どもたちに、十二支をわかりやすく伝えるゆかいな絵本。荒井良二氏のいたずら心いっぱいの絵が魅力的。



ちいさなはくさい

作 : くどう なおこ
絵 : ほてはまたかし
出版社 : 小峰書店

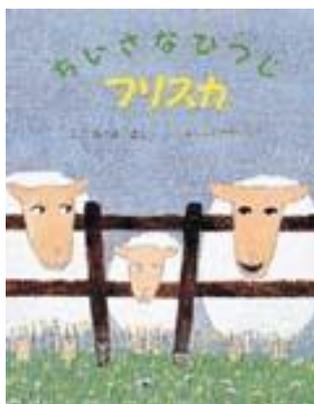
畑からはみだしてしまった小さな白菜と、そばで見守る柿の木をやさしい眼差しで描きます。早く大きく育ってトラックで八百屋へ行きたいと願う小さな白菜。ですが、白菜は小さいために収穫されず、広い畑にひとりきり、残されてしまいます。なかなか大きくなれない白菜は冬を越し、ついに春を迎えます…。著者が実際に畑で出会った小さな白菜から生まれた心あたたまる作品です。

<年中>

ちいさなひつじfrisca

作 : 瀧村 有子
絵 : 鈴木 永子
出版社 : 福音館書店

ちいさなひつじのfriscaは、ちいさいためにいつも仲間にばかにされ、悲しくってたまりません。からだを大きくみせようとするのですが、どれももうまくいきません。そんなある日、おなかをすかせたオオカミがやってきて…。



おはよう ぼくだよ

作 : 益田 ミリ
絵 : 平澤 一平
出版社 : 岩崎書店

うさぎがこぐまに言いました。「おおきくなったら、りっぱなみみのうさぎになれば、すてきじゃない？」言われたとおりにやってみます。ゆるゆるほかほか、自分探しの絵本。

<年少>

おおきくなるっていうことは

作 : 中川 ひろたか
絵 : 村上 康成
出版社 : 童心社

またひとつ大きくなったみんな、おめでとう。大きくなるってどんなことか、わかるかな？洋服が小さくなること、水に顔を長くつけられること、あんまり泣かないこと、それからほかにもいっぱいあるんだ。



ふゆのひのトラリーヌ

作・絵 : どの かや
出版社 : 偕成社

雪のふる日、街のみんなはトラリーヌからすてきなおくりものもらいました。フェルトで作られた絵がぴったりのあたたかなお話。たおはなし。